

患者さんへ

70歳以上の既治療進行再発非小細胞肺癌患者に対する
二次化学療法の有効性と安全性の検討

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究では、国が定めた指針に基づき、学術研究機関に情報を提供する場合には、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得る代わりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	2016年4月1日～2021年3月31日に当院で進行・再発非小細胞肺癌と診断され、二次化学療法を受けられた、70歳以上の方
2 研究目的・方法	<p>[目的]</p> <p>この研究は、当院にて進行・再発非小細胞肺癌と診断され、二次化学療法を受けられた患者さんを対象に、その治療内容による効果・安全性などについて調査することを目的とします。この調査結果は、将来、肺がんのより有効な治療に貢献できることが期待されます。</p> <p>[方法]</p> <p>当院呼吸器内科において進行・再発非小細胞肺癌と診断され、二次化学療法を受けられた患者さんの診療録(カルテ)より以下の情報を取得し、二次化学療法の効果や安全性を分析します。</p> <p>[研究期間]</p> <p>施設院長許可後～2025年3月31日</p>
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、2025年3月31日までに「6. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。
4 研究に用いる情報の種類	情報:年齢、性別、病歴、抗がん剤治療の治療歴、副作用等の発生状況 等
5 研究実施体制	<p>[情報の提供を受ける機関]</p> <p>京都府立医科大学大学院、呼吸器内科・山田 忠明</p> <p>[情報を提供する機関]</p>

	<p>京都第一赤十字病院、臨床腫瘍部・塩津 伸介 京都第二赤十字病院、呼吸器内科・竹田 隆之 市立大津市民病院、呼吸器内科・竹村 佳純 宇治徳洲会病院、呼吸器内科・千原 佑介 松下記念病院、呼吸器内科・山田 崇央 洛和会音羽病院、呼吸器内科・田宮 暢代 済生会滋賀病院、呼吸器内科・長谷川 功 大阪府済世会吹田病院、呼吸器内科・岡田 あすか</p> <p>[外部への情報の提供]</p> <p>代表機関へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。コード番号一覧表は、当院の個人情報管理者が保管・管理します。</p>
<p>6 お問い合わせ先</p>	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 住所：〒611-0041 京都府宇治市槇島町石橋 145 番 電話番号：0774-20-1111(代表) 研究責任者：宇治徳洲会病院、呼吸器内科・千原 佑介</p> <p>研究代表者： 京都府立医科大学大学院、呼吸器内科・山田 忠明</p>

2024年1月23日作成(第1.2版)